

平成28年9月12日

公益社団法人日本リハビリテーション医学会  
会員のみなさまへ

国立研究開発法人国立長寿医療研修センター  
理事長 鳥羽 研二  
副院長 近藤 和泉  
(リハ医学会理事)

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関する  
シンポジウムのご案内

骨粗鬆症、サルコペニアおよび転倒は、いずれも高齢化とともに増加し、最近、話題となっているフレイルさらには要介護状態につながっていくため、早期発見と予防がきわめて重要です。これらに関わる学会として、日本整形外科、日本骨粗鬆症学会、日本転倒予防学会、日本老年医学会、日本サルコペニア・フレイル研究会などがありますが、日本リハビリテーション医学会を初めとするリハビリテーション関連職種の学会・協会にも大きな役割を果たすことが期待されています。元より、これらの学会の個々の活動のみでは、根本的な問題解決にはつながらず、また、リハビリテーション医療関連職種との連携無くしては、包括的なアプローチもできません。このため今回、以下の様な要領で、シンポジウム開催することとなりました。日本リハビリテーション医学会の会員の皆様におかれては、奮ってご参加いただけるようお願い申し上げます。

記

会 期 2016年10月23日(日)

会 場 東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

東京都文京区湯島1-5-45 Tel: 03-3813-6111(代)

主 催 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

共 催 日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、日本老年医学会、  
日本骨粗鬆症学会、日本転倒予防学会、日本サルコペニア・フレイル研究会

\*詳細は [関連資料をダウンロード](#)の上、ご確認下さい。